

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 直腸肛門部疾患に対する手術後の生活の質と肛門機能の評価
	研究の対象 2012年～2025年3月に当院で直腸肛門部疾患（直腸癌や炎症性腸疾患など）の診断ならびに治療を受けられた方
	研究の目的 直腸肛門部腫瘍、炎症性腸疾患、痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍、会陰裂傷、直腸腔瘻など直腸肛門部に発生する疾患は多岐にわたり、数多くの手術が行われています。例えば、直腸癌に対して、これまで腹会陰式直腸切断術が適応となる症例に対して、手術技術の進歩により肛門を温存する手術（超低位前方切除術や括約筋間直腸切除術）を安全に行うことができるようになり、永久人工肛門を回避できる症例が増えてきています。一方で、術後に便失禁などにより日常生活に支障をきたし QOL が低下している症例も少なからず存在しており、術後 QOL 評価が重要です。直腸肛門内圧検査システムを使用し、肛門の静止圧、随意圧を測定することで客観的評価が可能となり、それに加え骨盤底筋体操などリハビリの介入により排便機能障害が改善する報告などもみられます。 そこで、主観的な術後 QOL 評価（アンケート形式）および直腸肛門内圧検査システムによる客観的評価により、患者さんの症状を改善する一助となることを目的としています。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日 から (西暦)2025年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 倉地清隆</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 外科学第二講座 倉地清隆</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 外科学第二講座 担当者： 倉地清隆 TEL： 053-435-2279 E-mail： kurachi1@hama-med.ac.jp</p>